

平成20年2月13日

各位

会社名 明豊ファシリティワークス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大見 和敏  
 (コード番号 1717 ジャスダック)  
 問合せ先 取締役経営企画部長 大島和男  
 (TEL. 03-5211-0066)

### 平成20年3月期 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成19年11月14日の決算短信発表時に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期（非連結）の業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,800	455	460	276
今回修正予想(B)	5,200	144	170	100
増減額 (B-A)	400	△311	△290	△176
増減率	8.3%	△68.4%	△63.0%	△63.8%
(ご参考)				
前年同期実績	5,371	389	394	229

#### 2. 通期（非連結）の業績修正の理由

##### (1) 環境の変化

当期上半期における粗利益（\*1）ベースの受注高は、前年同期比約20%増（実績値）と過去最高の水準であり、企業によるオフィス拡張・移転需要は引き続き堅調に推移し、当期下半期も高い受注レベルを達成出来るとの判断から、上半期の売上・利益実績が計画を下回った中で、通期については期初の予想を維持致しました。しかしながら、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、原油価格の高騰、円高基調などにより、景気減速リスクと先行き不透明感が増したことで、企業による設備投資やファンドによる不動産投資にも慎重な姿勢が顕在化し、発注までの検討期間が長くなると同時に引き合い件数そのものも減少しました。

##### (2) 売上高について

前述の環境の変化により、当第3四半期の粗利益（\*1）ベースの受注高は予想の58%にとどまり、当下半期中に売上計上できるプロジェクトも予想を下回ることとなりました。この様な売上高

減の要因がある一方で、当社の強みである多拠点統廃合プロジェクトを多数受注する中で、契約窓口を一本化したいとの顧客の要請から、売上高がフィー＋工事原価で構成されるアットリスクCM方式（売上高に工事原価を含むため、売上高がフィーのみで構成されるピュア方式と比べ売上高総利益率が低い）の粗利益（＊１）ベースでの比率が通期で26％と予想（20％）を大きく上回ることから、全体としては売上高が前回予想より増加する見込みです。

（３）営業利益、経常利益、当期利益について

一般管理費については、期初の計画通り、優秀な人材を積極的に強化したことで、人件費を中心とした一般管理費はほぼ計画通り通期で前期比104百万円（6.2％）増となる見込みです。一方で、当下半年中に売上計上できるプロジェクトが予想より少ないことから、営業利益、経常利益、当期利益ともに前回予想を下回ります。

（４）当期第4四半期の受注状況について

当期第4四半期は、引き合い件数にも回復が見られ、第4四半期としてはほぼ前回予想通りの受注レベルを達成し、当期末の粗利益（＊１）ベースの受注残は前年同期末を大幅に上回る見込みです。

以上を踏まえ、本日当期通期の業績予想を修正することと致しました。

これらの結果、売上高5,200百万円（前回予想比8.3％増）、営業利益144百万円（前回予想比68.4％減）、経常利益170百万円（前回予想比63.0％減）、当期純利益100百万円（前回予想比63.8％減）になる見込みであります。

（＊１）

粗利益とは、当社の売上高がフィーのみで構成されるピュアCM方式と、フィー＋工事原価で構成されるアットリスクCM方式等とで、その規模が大きく異なることから、当社の収益規模を管理する指標として社内で用いているものであり、売上高から社内コスト以外の工事原価を控除したものであります。尚、当社は顧客との守秘義務契約等に鑑み、粗利益を公表しておりません。

3. 配当予想の修正

（１）修正の内容

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 期末配当金	1株当たり 年間配当金
前回発表予想 (平成19年11月14日発表)	—	6円00銭	6円00銭
今回修正予想 (ご参考)	—	5円00銭	5円00銭
前期実績(平成19年3月期)	—	5円50銭	5円50銭

#### 4. 配当予想修正の理由

平成19年11月14日の決算短信発表時に1株あたり6円00銭の期末配当金を予定しておりましたが、今回の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが見直しを行い、安定的かつ継続的な配当を実施するという方針も踏まえ、5円00銭に修正することを本日開催の取締役会にて決議致しました。

株主の皆様には深くお詫びするとともに、配当を増額できるよう全役職員が一丸となって取り組む所存でありますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### (注)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以上